

順次ご指名いたします。

## 大沼 久委員の総括質疑

○**渋谷佐輔委員長** 順位1番、議席番号11番、大沼 久委員。

○**11番 大沼 久委員** おはようございます。  
通告してあります点につきまして、質問をさせていただきます。

初めに、長寿敬老事業のこれまでの進捗状況につきまして、福祉事務所長からご説明を願います。

○**渋谷佐輔委員長** 小泉良一福祉事務所長。

○**小泉良一福祉事務所長** 答えをいたします。  
長寿敬老事業の進捗でございますけれども、平成21年度の米寿の88歳につきましては215名、100歳で11名、101歳以上の方が12名、合計238名の方がおられます。

また、敬老記念品として、76歳以上4,592名の方によるかんを贈呈をさせていただいております。

進捗でございますけれども、88歳以上の方につきまして、祝い品として市長の直筆の色紙と湯飲みを用意してところでございますが、3月2日に、致芳、西根地区の民生委員・児童委員の方をお願いをして贈呈をいただきました。残りが中央、平野、豊田、伊佐沢地区の142名の方に贈呈をするところでございますけれども、6月の民生児童委員の定例会で配付をお願いをしたところでございます。

そのほかの事業につきましては完了してるところでございます。

○**渋谷佐輔委員長** 11番、大沼 久委員。

○**11番 大沼 久委員** ここで88歳の祝い品のことについてこだわるわけでありまして、なぜかといえば、21年度は私の母が生きてれば

88歳だったので、母の友達からその点聞かれたところであったものですから、なぜ2地区だけに早く配られて、その後近々になって行われるのかということ、なぜなのかということをお聞きしたいんですけども、これは市長の直筆の色紙ということになっていきますので、市長にお伺いすればよろしいのでしょうか。

○**渋谷佐輔委員長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** 答えをいたします。

長寿敬老事業につきましては、ただいま福祉事務所長が申し上げたとおりでございます。

大沼委員のご指摘の米寿の皆様へのお祝いでございますが、215名中、3月の民生委員・児童委員の皆様の定例会の際に全部お渡しするように準備してきたんですが、私の方でなかなか色紙全部書き切れなくて、60枚ぐらいまでできてませんでした。そんなことで、民生委員・児童委員の皆様の定例会が南部と北部と分かれてるということで、北部だけを先にやって南部については私が書き次第ということで、4月、5月ということでなかなか書けず、6月の今回の定例会の際に残りを配らせていただくようお願いしたところでございます。

私の方の努力不足、怠慢ということで、これをおわび申し上げなきゃいけないというふうに思います。来年については高齢者の方がまたふえるということで、直筆で書くのもなかなか、下手な字なんですけど時間がかかりまして、ちょっと反省しております。今年度についてはどのようにするかについて少し検討して、遅滞のないように今後努めてまいりたいと思いますので、よろしくご理解を賜りたいというふうに思います。大変申しわけございませんでした。

○**渋谷佐輔委員長** 11番、大沼 久委員。

○**11番 大沼 久委員** 何か理由が、ちょっと私にとっては、市長たるものそんなことでよろしいのかということで憤りを今覚えているわけがありますけれども、直筆がかなわないならば何も

それにこだわる必要はないわけでありまして、方法として、どこかに配られて、ほかのところがおくれて配られるなどということがあってはならないと。特に私、選挙を意識してるわけではございませんが、言っでは不調法になると思えますけども、市長の地盤的に言えば北部の方に先に配ったのではなからうかと、こんなうがった見方をするわけでありまして、先ほども市長が言ったように、人数が多くなったから考え方を考えるなどと今おっしゃってるようでは、ことしの事業もこれも危ういような気がしてならないんですが、今の時代ですからコピーも何でもあるんですから、直筆には変わらないと思えますので、その辺はうまく文明の利器を使いながら遅滞のないようにやるのが筋だと思えますけども、この点の弁明をただけで済むなどということ考えておられるようではないと思えますので、もう少し真剣にこのことについて考えているか、市長にお伺いいたします。

○**洪谷佐輔委員長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** 大変この点については申しわけなかったと思えます。

また、お願いの仕方、私の方から細かく指示をすればよかったなというふうに反省しております。一番悪いのは私が書き切れなかったということでございますので、これはもうおわびするしかないというふうに思いますが、やはり今年度についてはやり方を変えていかないと、正直なところかなりきついなということで、集中しないと書けないもんですから、そうすると執務時間中になかなかまとまって時間をとれないということなどもありましたので、これは昨年は何とか枚数ももう少し少なかったものでできたんですが、ことしやはり枚数がかかなりふえてしまったということで、これは反省しながら、昨年度のお渡しする方に対して、おくれたことについてはおわびを申し上げてご了承いただく

ようにお願いしたいと思っております。

なお、選挙とかどうのこうのということは全くございません。たまたま北部に配ったということで、それは私の方から指示は一切しておりません。また、配る方法についても、南部と北部に分かれていたというのは私が最近知ったのでありまして、あくまでも担当の方でいろんな考え方があって、平等にということで南部の方は南部一斉に配れるということで、実際のところは5月の時点であと36部だけだったんですけども、全体で100何部を配ってなかったということでございますので、配り方についても私の方から細かく指示をすべきだったなというふうに反省してるところでございます。

今後二度とこういうことのないようにさせていただきたいと思えますので、何とぞご了承賜りたいと思えます。

○**洪谷佐輔委員長** 11番、大沼 久委員。

○**11番 大沼 久委員** 最初にお断りしたとお断り、うがった見方かもしれませんということでお断りしてるわけですけども、もらう側にとっては、やはり片一方ではもうお茶飲みのときそれを使って喜んでお茶飲みしたななどという話を聞くと、何でおれのとこだけおくれたのかということ、うんと気にする方もいらっしゃるし、先ほど申し上げますとおり、私のおふくろが生きてればちょうど88歳だったもんですから、同じ年の友達が結構いたということでそのような話が出まして、私も本当なのかと耳を疑ったところでありました。

ですから、市長、多忙なことはよくわかりませんが、市長と副市長というのは、これはコンビよろしくぼけと突っ込みにならなければうまく運用できないわけでありまして、副市長をうまく運用、運用するというのは言葉悪いですね、一緒にやって遅滞のないようにやるということが、日本一幸福度の高いまちを目指すという心意気になるんじゃないかならうかと思えます

ので、その辺、もう一つ市長にお伺いいたします。

○**渋谷佐輔委員長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** 幾重にもおわびを申し上げたいというふうに思います。これは大沼委員ということだけではなく、お渡しできなかった方に対して大変申しわけなく思っております。

やはり、私自身いろいろ反省すべき点、多々ありまして、ただ、やはりスケジュール管理も含めて、ことしの2月、3月、また4月、5月は、正直なところ、土日はフルではございませんが、ほとんど月1日休めるかどうかというような状況であり、やっぱりその辺を副市長とうまくカバーし合いながら、やはり私はこちらの方を専念して、会議とか総会とか、そういったものはやはりかわっていただくとか、そういったことをしないといけなかったなというふうにいろいろ反省してるところでございます。

今後については、二度とこういうふうな不祥事のないようにしたいと思いますので、よろしくご理解賜りたいと思います。

○**渋谷佐輔委員長** 11番、大沼 久委員。

○**11番 大沼 久委員** 市長の言わんとすること、よくわかったわけですが、また、こんなことを言って非常に失礼に当たりますけども、せんだっての発言の訂正もあったわけですが、私は何も「伊佐沢は飛び地だ」って言われたから頭にきたわけじゃありませんので、飛び地という言葉の使い方が大体間違っていると、このことをご指摘したかったわけですが、そのように、やはり謝れば良いという問題でないわけで、やはり基本的にもう少し、市長の激務はわかりますけども、自分が選んでなった職業でありますから死ぬ寸前まで頑張りたいというのが私の本意でありますので、もう一度決意をお伺いしたいと思います。

○**渋谷佐輔委員長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** 大変申しわけございませんでし

た。決して言葉だけ軽く言ってるつもりはございません。

また、せんだっての「飛び地」という発言については、ちょっと私も不適切な発言だったというふうに思っております。それを差別というよりも、あくまでもあのケースの場合はちょっと違った意味で言っておりますので、その辺は、飛び地ということ自体だけではなくて、その文面の中でご理解をいただければというふうに思っております。

私は何も伊佐沢を飛び地だなんて差別したことはございませんし、自分の住んでるところも同じような飛び地というようなニュアンスで言っております。それは中央地区から見た場合、川を挟んで向こう側だということを言ったわけでございます。ですから、それらがどうも、おまえはおごり高ぶっていると、そういうようなご指摘だとすれば、これは決してそういうつもりではなくて申し上げておりますし、このたびについてももう少しめ細かく、やっぱり今回の長寿祝い品の方の担当の方も、恐らく私の方には催促なかなかしにくかったんだろうなど。ですから私の方でもう少し余裕を持って、細かい部分にも一職員の担当の仕事までやっぱり気をつけなきゃいけないんだなということを非常に反省したところでございます。

今後は、やはり副市長あるいは教育長、管理職の皆さんと連携をより密にしながら、こういったことのないようにしたいというふうに思いますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。このたびは大変申しわけございませんでした。

○**渋谷佐輔委員長** 11番、大沼 久委員。

○**11番 大沼 久委員** 行政はチームプレーだと思いますので、チーム一丸となって、サッカーのジャパンイレブンのごとき頑張りたいと思います。以上で終わります。

+